

委託業務仕様書

1 業務名

広島市立大学ウェブサイトリニューアル及び運用・保守業務

2 趣旨

広島市立大学（以下「本学」という。）のウェブサイトは前回リニューアルから約5年が経過し、昨今のウェブアクセシビリティの変化、スマートフォンなどの閲覧デバイスの普及等、取り巻く環境も大きく変化してきている。

また、2022年4月にスタートした本学の第3期中期計画において、「多様なステークホルダーに対して広島市立大学のブランド価値を広め、（略）多様なメディアの活用を通じ、効果的、魅力的な広報を展開する（略）」ことを掲げている。

さらに、2023年3月には本学の広報戦略を改正し、今後は「『広島*』を意識した広報」の基本方針に基づいた広報展開をすることとしている。

これらのことを踏まえ、大学広報、ブランディングの有力なツールとなり得るウェブサイトのリニューアルし、本学の特色・魅力を多様なステークホルダーに対して、分かりやすく魅力的に伝えるウェブサイトを構築し、情報発信力の強化を図ることとする。

※ 本学の広報戦略においては、本学の建学の基本理念に込められた「科学・文化の発展と世界平和を希求する広島市の意志」と「公立大学としての地域貢献への期待」を『広島』というキーワードに込め広報展開することとしている。

3 基本コンセプト

建学の基本理念「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を中心とした本学のブランド価値を高め、特徴や強みを発信できるウェブサイトとする。

また、閲覧者の利便性、情報の探しやすさ、分かりやすさを向上させ、閲覧者にとって知りたい情報かつ発信者の伝えたい情報が的確に届き、かつ本学教職員が管理運用しやすいウェブサイトとする。

なお、ターゲットは本学への進学希望者やその保護者、高校教員、地域住民、企業担当者、在学生とその保護者、卒業生、留学生、本学教職員等とする。

4 業務内容

(1) ウェブサイトリニューアル

ア ホームページの構造・運用設計及びデザイン制作をすること

イ **別紙1**の基本要件を踏まえてCMSを導入し、構築・設定を行うこと。なお、CMSは広く利用実績があるものを使用すること。

ウ 追加機能及び新規コンテンツを企画立案し、本学と協議の上構築すること。

エ ウェブアクセシビリティに対応したウェブサイトを構築すること。

- オ 検索エンジンの最適化（SEO）対策を行うこと。
- カ 既存コンテンツを整理した上で、移行作業を実施すること。
- キ 操作・運用マニュアルを提供し、運用開始までに教職員を対象として説明会を実施すること。
- ク 公開に遅れが生じないように「別紙2」のとおり実施し、共有できる進捗管理表を作成の上、管理責任者が適切なスケジュール管理を行うこと。なお、「別紙2」のスケジュールは各作業の時期が早まることを妨げるものではない。

(2) ウェブサイト運用・保守

- ア 公開後の運用・保守を行うこと。
- イ 本学からの障害対応等保守依頼があれば、随時調査・報告し、その後、迅速に障害復旧できる体制をとること。
- ウ アクセス数・検索キーワードなどによる分析をもとに、サイト運営に有益な情報提供・提案を行い、年に1回以上レポートを提出すること。
- エ 本学からの各種問い合わせに対応すること。
- オ 本学の依頼をもとにデータの追加、修正等の保守管理を行うこと。
- カ 保守管理の実施体制、連絡方法を明確にし、受託先による編集・更新が必要な部分について、本学からの依頼があった場合には、迅速に対応すること。
- キ サーバーのOS・ブラウザのバージョンアップに対応すること。
- ク ドメインの管理・更新に対応すること。

5 委託期間

(1) ウェブサイトリニューアル

契約締結の日から2024年1月31日（水）まで

- ※ ウェブサイトの運用等引継期間を含む。
- ※ 2024年1月31日（水）を納入期限とし、試用期間を2週間以上設けた上での公開とする。

(2) ウェブサイト運用・保守

2024年2月1日（木）～2029年9月30日（日）

6 契約金額について

- (1) 本契約の契約金額については、ウェブサイトリニューアル業務と2029年9月30日までの運用・保守費用及び多言語対応の自動翻訳等の必要経費を含むこととする。
- (2) 本業務に関わる必要経費は全て本契約の契約金額の範囲内で処理すること。

7 業務の仕様

(1) ウェブサイトリニューアル

ア トップページ

- (ア) イメージ向上に寄与するデザインとし、情報の属性ごとにタブを切り替えるなど閲覧者が容易に目的の情報へ到達でき、利用しやすく、ターゲット別にコンテンツが整理された配置とする。
- (イ) 現ウェブサイトの「お知らせ」情報を整理するとともに、テキストだけでなく、写真等のビジュアルの使用や内容別に区分するなどして、発信したい最新の情報が伝わりやすい構成とする。
- (ウ) 各学部・附属施設等のオリジナルサイトへスムーズに誘導できること。
- (エ) 第2階層への入口を、対象者別（志願者、保護者、学内等）、キーワード別（教育、研究、国際交流等）、学部等・附属施設別に区分する。

イ 既存コンテンツの整理と移行

- (ア) 基本的には現在のコンテンツを活かし、整理して構成する。なお、整理・移行に当たっては、本学担当者と協議の上実施すること。
- (イ) 移行に関しては、本学職員の指示に従い、公開に必要なサイト及びデータは全て移行すること。移行するページは「<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/>」で始まるサイトとする。ただし、企画提案によって変動することがある。

ウ 新規コンテンツを運用する仕組みの構築

- (ア) 以下の新規コンテンツを運用する仕組みを構築すること。
 - ・ 高校生が本学での学生生活をイメージでき、魅力を感じる情報が発信できるもの。
 - ・ 学生広報サポーター※が学生の目線で情報発信できるもの。
 - ※ 学生の視点から本学の魅力を発信していくことを目的として活動している学生グループのこと。
 - ・ 研究成果を魅力的かつ効果的に発信できるもの。
 - ・ 学長が学内外に向けて情報発信できるもの。
 - ・ その他、本学の魅力を効果的に発信できるもの。
- (イ) 仕組みを構築する際は、教職員が容易に運用できるものとする。
- (ウ) その他新規作成するコンテンツについては、本学担当者と協議の上実施すること。

エ デザイン

- (ア) 統一感を持たせたデザインとする。
- (イ) パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末の種類・画面サイズによって表示が最適化されるレスポンシブデザインとする。また、ウェブサイトでデザインされているものがプリンター等で適切なサイズの印刷物として印刷可能なこと。
 - ※ 現行デザインの継続使用について
「<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/>」で始まるサイト以外についてはリニュー

アル対象外とし、現行デザインをそのまま使用することとし、本学が指定する箇所から各サイトへ移動できるよう設定すること。

オ ウェブアクセシビリティ

ユーザビリティ（ISO9241-11/JIS Z 8521:2020に対応するもの）に最大限配慮するとともに、アクセシビリティはウェブアクセシビリティに関する日本工業規格（JISX 8341-3：2016）の適合レベルAAに準拠したものを前提とするが、大学と協議の上デザインを考慮すること。対象のページは以下のURLで始まるページとする。「<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/>」

また、自動で実行される簡易のアクセシビリティ検査機能が実装された仕組みとすること。

カ その他

- (ア) 閲覧者が求める情報を迅速かつ迷わずに探し出せることを重要視する。また、デザインや階層構造について最適と思われる提案を行うこと。埋め込みや同時投稿など、動画やSNSとの連携を可能とすること。
- (イ) 公開前の構築作業等を行うテスト環境については、契約の範囲内で用意すること。なお、テスト環境は本学が契約しているサーバー以外で用意すること。
- (ウ) 既存コンテンツの整理と移行を踏まえた上で、リニューアル後のサイトマップを作成すること。
- (エ) 多言語対応とすること。
- (オ) 教職員が効率的に運用・更新でき、作業負担が最小限となる仕組みを構築すること。
- (カ) 種々のブラウザ（Chrome、Safari、Microsoft Edge、Firefoxの最新版）で等しい表示ができること。必要に応じて最新バージョンに対応すること。
- (キ) スマートフォン・タブレットは最新のバージョンに対応すること。
- (ク) 学内システムとの接続を考慮した環境設定を行うこと。
- (ケ) 学内向けページ・データは学外から閲覧できないような仕組みを取り入れる等、セキュリティに十分配慮すること。
- (コ) 使用方法等について、学内関係者向けの研修会を実施すること。
- (サ) サイト内検索について、Google検索を導入するなど、利便性が向上する仕組みを構築すること。

キ CMS構築及び適用

- (ア) 本仕様書7(1)ア～カのウェブサイトリニューアルの仕様に基づき、CMS用のデザインテーマを構築し、適用すること。
 - ※ CMSの基本要件については、別紙1「CMS基本要件表」に示す。
- (イ) 最新バージョンのCMS及び拡張機能に対応すること。
- (ウ) CMSは本学情報処理センターで準備する基本システム（Apache、PHP、DB）上で構築できるものを前提とし、具体的な制約については本学と協議の上決定す

ること。

- (エ) 本学のLDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバーと連携できるようにすること。
- (オ) 本業務で導入するCMSにより、システム内でのページ作成・仮保存・更新・承認・公開等の一連の作業が行えるようにすること。
また、各部署等の担当者がウェブサイトのページ案をCMS上で作成し、各部署等の承認者がそれを承認する運用が行えるようにすること。
- (カ) 合格発表等のアクセスが集中する際にも、CMSやそれをういたコンテンツの表示等に問題が出ないようにすること。
- (キ) https接続で運用し、サーバー証明書は契約の範囲で用意すること。
- (ク) 403 (Forbidden) ページや404 (Not Found) ページ等の編集が可能なこと。
- (ケ) 個人・部署単位のアクセス制限ができるようにすること。

ク 納品形式

- (ア) 構築期間中は、本学内関係者がコンテンツ等の進捗状況を確認できるようにすること。
- (イ) ウェブサイトの公開に当たっては、試用期間を2週間以上設けること。
- (ウ) ドキュメント一式を電子データ及び印刷物で納品すること。
 - ・ウェブサイト設計書：1部
 - ・テスト結果報告書：1部
 - ・運用マニュアル：15部（カラー刷り）
 - ・管理者用マニュアル：5部（カラー刷り）
- (エ) 詳細は別途受託者と本学担当者の間で協議の上決定する。

(2) ウェブサイトの運用・保守

ア 運用・保守

- (ア) CMS及び関連するウェブコンテンツ全体（以下CMS等とする）の運用・保守を行うこと。運用・保守業務は現在の使用環境との親和性と互換性に配慮して実施すること。
- (イ) CMS等は24時間365日の稼働を原則とし、動作の異常やセキュリティのトラブルの早期発見・予防に努めること。
- (ウ) CMS等に対して、パッチ適用、バージョンアップ、プラグインの確認及び更新作業を実施すること。
- (エ) CMS等の稼働監視やセキュリティ監視を実施し、CMSの安定的運用をはかるため、ソフトウェア、セキュリティに関して定期的な保守を行うこと。監視の際には保守に必要なログが収集できるようにしておくこと。
- (オ) 導入したCMSや拡張機能など、関連のアプリケーション及びプログラム等のセキュリティが常に確保されていること。また、脆弱性等が発見された場合には速やかにセキュリティ対策を講じること。

※ 上記のとおり脆弱性等が発見された場合には、バージョンアップ等の保守作業（セキュリティ確保等）を行うこと。

(カ) CMS等にかかる作業を行う場合は、本学の担当者と事前に協議して実施すること。

(キ) サーバーのOS、ソフトウェアバージョンアップ等更新による不具合が発生した場合は対応を行うこと。

※ 2024年度にサーバー移行の予定があるため、その際の対応を含む。

(ク) 主要なブラウザで、コンテンツが正確に表示され、各種システムの機能が快適に利用できること。

【パソコン向け】

- ・ Google Chrome
- ・ Safari
- ・ Microsoft Edge
- ・ Mozilla Firefox

【スマートフォン向け】

- ・ iPhone及びAndroid等の標準ブラウザ

(ケ) サーバーやコンテンツに不具合が生じた際に速やかに復旧できるよう、バックアップをとること。バックアップのタイミングや保存期間は、本学担当者と協議し決定すること。

イ 障害対応

(ア) CMSの動作に関する障害（ウェブサイト閲覧に関する障害、ウェブサイト更新作業に関する障害、セキュリティ上の障害など、ウェブサイト公開に支障をきたす障害）に対して、予防、発生時の迅速な処理を行うこと。

(イ) 障害が発生した場合は、本学に迅速に連絡するとともに、直ちに状況の把握を行い、障害箇所の特定及び、影響範囲の調査を行うこと。また、すみやかに現状復帰すること。また、本学が障害を発見した場合、電話、メールによる問い合わせに対応すること。

(ウ) 障害対応履歴の集積・分析、障害原因の分析により再発防止を行うこと。

(エ) 障害対応の完了後、対応内容を書面で報告すること。

ウ 運用支援

(ア) CMS操作、ウェブサイト全般について、本学教職員へのメール・電話で問題解決対応の実施を行うこと。原則として平日（土・日曜日、祝日を除く）の10時から17時までとする。ただし、緊急時は、本学と協議の上対応すること。

(イ) 動作の不具合の調査を迅速に行い、本学に結果を報告すること。

(ウ) 緊急時の支援として、管理者からの電話やメールでの作業依頼（必要なページの作成・更新作業等）に対応すること。

(エ) 年に1回以上アクセス解析を行い、カテゴリ分類や問題点を明らかにし、修

正の提案及びサポートを行い、レポートを提出すること。解析を実施する時期については協議の上決定する。

エ 軽易なコンテンツの作成等を行うこと。

(ア) 軽易なコンテンツの作成・更新、設置を行うこと。

- a 各種ページ（メニューページやテンプレート等）の新規作成・修正等
- b 別途指定するコンテンツのメンテナンス作業

8 権利の帰属

本業務における成果品の著作権、原版、DTPデータ等の所有権は、すべて公立大学法人広島市立大学に帰属する。

9 その他注意事項

- (1) 業務履行に当たっては、十分な知識と技術を有した作業員を従事させること。
- (2) 別添の「公立大学法人広島市立大学委託契約約款」及び「個人情報取扱特記事項」を遵守すること。
- (3) 以下のとおりセキュリティ対策を講じること
 - ア 受託者は、本業務に使用するサーバー、パソコン等の情報機器についてセキュリティに留意し、ウイルスや外部からの攻撃、障害対応、情報漏えい等に関して十分な対策を講じること。
 - イ 受注者は上記のほか、必要なセキュリティ対策を講じること。
- (4) 業務完了後であっても、不都合が生じる前に修正プログラム等の対応が必要と判明した場合や受託者の責めに帰すべき理由により不都合が生じた場合は、誠意をもって対応すること。なお、この場合に必要な経費は受託者の負担とする。
- (5) 受託者は本業務（再委託をした場合を含む。）を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、目的外の利用、第三者に開示、漏えいしてはならない。契約終了後も同様とする。
- (6) 受託者は本業務（再委託をした場合を含む。）を履行する上で、著作権、肖像権や個人情報を取り扱う場合は、関係法令等を遵守するものとする。
- (7) 制作方針、掲載内容、デザイン等については、プロポーザル審査委員会時の受託者からの企画提案を基本とするが、本学担当者との協議を踏まえながら進め、最終決定する。また、受託者は本学が求める随時の協議に対し、速やかに応じられる体制を整えること。
- (8) 本業務の一部を再委託する場合、事前に再委託範囲及び再委託業者を本学に書面で提示し、了承を得ること。また、受託者は再委託先の行為について全責任を負うこと。
- (9) この仕様書に定めのない事項については、本学担当者との協議の上、決定するものとする。